

安比高原の自然を大切に

「あっぴ高原遊々の森」協定書を更新

6月1日、安比高原のブナの駅で、周辺の国有林182㍍を「あっぴ高原遊々の森」に設定する協定を更新する調印式が開催されました。

「遊々の森」は、学校教育や森林環境教育に国有林を利用できる制度で、調印式には約40人が出席。田村正彦市長と岩手北部森林管理署の野藤昌弘署長が、平成18年に締結した協定期間をさらに5年間延長する協定書に調印した後、安代小5年生25人が、声をそろえてみどりの誓いを読み上げました。



「みどりを大切にします」と、みどりの誓いを読み上げる児童たち



飯島前監督(写真右)の指導を受ける選手たち

日本選手権連覇の技伝授

三洋の前監督など招きラグビークリニック

5月28日、県高校総体開催中の上寄木グラウンドで、ラグビークリニックが開催されました。

これは、東日本大震災で被災した選手たちを励まそうと開催されたもので、三洋時代に日本選手権3連覇を達成した飯島均前監督のほか、昨季のトップリーグプレーオフMVPの山田章仁選手など、パナソニック(旧三洋電機)ワイルドナイツの4選手が参加し、県内の高校ラグーマン約100人を指導。併せて、県内関係者から寄せられた義援金が沿岸6校に贈られました。

郷土を思う気持ちは一つ

八幡平ふるさと会の集いを開催

5月29日、ホテルラングウッド(東京都荒川区)で、第5回八幡平ふるさと会の集いが開催されました。

集いには、西根地区72人、松尾地区31人、安代地区104人の会員のほか、田村市長や瀬川議長など約230人が出席。特別ゲストとして、八幡平市民歌作曲者の林芳輝さんと、八幡平市民歌CDで美声を披露した声楽家の鎌田滋子さんも出席し、集いに華を添えました。

なお、会場内に設置された募金箱には110,200円が寄せられ、今後市に贈られる予定となっています。



出席者全員による歌声が、会場いっばいに響きわたりました



「息の合った踊りを披露」
(5月28日、東大更小学校運動会)



「尻もちについて思わず大笑い」
(6月2日、松野小学校田植え)



「いい天気にも恵まれました」
(5月27日、田頭小学校田植え)



「勝利の女神はどちらに」
(5月28日、平舘小学校運動会)